

市政懇談会 市長のいきいきタウントークを開催しました

10月19日から22日にかけて、平成28年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」を3会場で開催しました。

3日間で156名の皆さんが参加され、市政に対する多くのご意見・ご要望が寄せられました。

いただいたご意見等は、今後のまちづくりに生かしていきます。

問い合わせ先

総合政策課
☎(32)8886



ご意見・ご要望の内訳

生活基盤	4件
生活環境	4件
保健・福祉	2件
教育・文化	8件
市民生活	9件
合計	27件

開催日・場所	参加者	アンケート	意見・要望数
10月19日(水) スポーツ交流館	65名	9名	12件
10月21日(金) コミュニティセンター 友愛館	44名	6名	10件
10月22日(土) 薬師寺コミュニティ センター	47名	8名	5件
合計	156名	23名	27件

ご意見と回答

市政懇談会タウントークでいただいたご意見等と市の回答の一部を紹介いたします。

全ての一覧は、市ホームページでご覧になることができます。

世代を超えた 交流の場を

Q 少子高齢化の時代なので、石橋庁舎の跡地に子どもと老人が過ごせるような施設を要望します。

A 公民館では、子どもと老人が一緒に行動できるような事業を実施しています。石橋庁舎の跡地周辺は、人口密集地域で災害緩衝地帯などの設置が必要な地域で、石橋病院跡地とも併せて、地域住民の方と協議しながら検討していきます。

表流水の水道への 利用は?

Q 公共施設管理計画で維持費を20%削減することになっていきます。水道施設について、現在は100%地下水を利用していますが、今後表流水を使う計画はありますか。

か。また、その時は多くの経費が掛かると思いますが、20%削減の返納や水道料金が値上げされるということはありますか。

A 公共施設のマネジメントについて、昨年度は、提供サービスの質の向上、安全性の確保、複合化や集約化により20%の経費の削減を全体の基本方針として策定しました。今年度は用途別の基本方針を策定します。公共施設全体の30年での経費が1,300億円かかるとの試算ですが、調達できる資金は1,020億円で、大きく不足しています。基本方針に従って用途別の計画を策定します。重要給水施設についての計画を、平成29・30年の2か年で策定します。市は地下水を100%利用していますが、小山市は100%表流水、野木町はそれに近い数値で表流水となっており、下流部では地盤沈下が問題になり表流水に転換しました。地下水の水質はとも良いですが、重要なライフラインでありますので、2系統の水を利用し万全にしたい。また、地盤沈

下について下流域の自治体が頑張っていますのでそのことも考えています。

将来の公共交通は?

Q コンパクトシティを目指すとの説明がありました。川西地区に住んでいますが、高齢化が進んで交通手段が問題になります。そこで交通難民、買い物難民の解消のため巡回バスなどの計画はありますか。

A 巡回バスは利用率を考えると難しいので、下野市はデマンドバスを運行しています。また、壬生町、上三川町と研究会を設置し検討していますが、市民の皆さんの要望を聞いて、需要を研究したうえで、デマンドバスが良いのか民間を活用したほうが良いかなど研究していきます。

